



平成 24 年 11 月 2 日 第 2 卷(第 30 号)

発行： 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル 2F

災害対策本部 TEL (03)3351-5038

FAX (03)5366-1058

mail: dsstsw@jaswhs.or.jp

目次

1. 現地支援活動報告
2. 現地感想文
3. 災害対策本部からのお知らせ
4. 事務所感想文



神奈川チーム 現地事務所にて

— 現地石巻 photo —

●●●1. 現地支援活動報告

活動期間:2012年10月11日~10月13日
中山 智史 (大阪府済生会泉尾病院)

今回初めて被災地石巻市へ行き、現地協力員として活動に参加させていただきました。震災後1年以上経過していても被災した当時のまま、とり残された学校や病院などの施設があり復興はまだまだなのだと思います、改めて被害の大きさを知りました。

現地で電話や訪問によるフォローアップ活動を行いました。訪問の時には土地勘が全くない中でナビを頼りに迷いながら、時には住民の方に教えてもらいやっとの思いで自宅を見つけていました。実際訪問し話を聞いていくと、これからは物の支援ではなく精神的なサポートの必要性を強く感じ、支援の方法も少しずつ変えていく必要があるのではと思いました。

最後に、丁寧にサポートしてくださいました現地協力員の方々、石巻医療圏健康・生活復興協議会の皆様、本当にありがとうございました。

<参加を検討している方へのメッセージ>

ぜひ参加されることをお勧めします。

現地に行かなければ分からないこと、何ができるのかと不安に思うかも知れませんが、あなたの支援を必要としている方々がそこにおられるはずです。

活動期間:2012年10月18日~10月20日
園田 亮 (神奈川県 オアシス湘南病院)

3日間のボランティア活動を終えて今感じることは、少し無理しても参加してよかったということです。

石巻市医療圏 健康・生活復興協議会内で、日本医療社会福祉協会が自立サポート部門を担い、在宅生活者を継続的にフォローしていることを知りました。他の職種、部門が同じ場所で仕事をしているので、その場で相談ができること、協議会内のメンバーが情報共有できるコンピューターシステムを体験することができました。同行訪問もさせていただき住民の方から直接話を伺えたことも大変貴重でした。

人を知り、町を知る、ソーシャルワークの原点回帰を実感しました。今日生きるか死ぬかという時期は過ぎた印象で、これからの生活の現実に直面していることや、震災前からの問題が顕在化してきていることを感じました。支援のバトンをつなぎ続けて、いつか現地の方だけで新たな町を築いてほしいという気持ちを強く持ちました。これからも自分なりに石巻市の支援に協力したいと思います。

<参加を検討している方へのメッセージ>

経験年数に関係なく興味を持った方には、1人でも多く参加していただき、石巻を見て触れて感じてほしいと思います。素敵な出会いがあなたを待っています。そしてみんなでバトンをつなぎましょう!

活動期間:2012年10月18日~10月20日

富永 千晶 (神奈川県 大倉山記念病院)

5回目の参加でした。今回は、2期フォローの支援として北上エリアを訪問しました。今回初めての市街支援でしたので、地域性や被災状況を見極める情報収集もままならなかったなかで、快くお話をしてくださる方、約束の時間に間に合わずお会いすることができなかった方…それぞれの想いに添えることが短期間での支援では難しいと実感しました。

それでも、記録に残し次のソーシャルワーカーにつないでいくのです。毎回1ケース 1ケース、真摯に取り組んでいます。本当にソーシャルワーカーとしての在り方を問われているように感じました。できることを、丁寧にしていくことしかできませんが、それが大事かと思いません。

大川小学校も、見てきました。校門の前にたくさんの季節の花々に囲まれた校舎と、たくさんの想い…忘れてはいけない、風化させてはいけないと思いました。

語り繋ぐこと、支援していくこと、復興を見守ること…。これから、たくさんの課題があると改めて実感しました。

<参加を検討している方へのメッセージ>

医療ソーシャルワーカーとして、まだこれから支援を必要としている方々はいます！

まずは、来て・見て・感じて・考えて！！と思います。

リピーターの仲間や、協会、そして現地のスタッフが、きっとサポートしてくれます。



牡鹿半島 寄磯浜前浜

●●●2. 現地感想文

●●●10/23 依光則子(現地担当)

今日の関連ニュースからいくつかピックアップ。

- 地域医療再建へ拠点 東北大病院教育支援部、石井教授会見

<http://www.kahoku.co.jp/news/2012/10/20121023t13025.htm>

石井正氏は石巻日赤を退職され東北大教授へ。石巻市立病院再建にも言及。

- 石巻の仮設診療所など 厚労相が視察

<http://www.kahoku.co.jp/news/2012/10/20121023t11008.htm>

- 宮城県内の広域処理不燃がれき 最終処分量4万トンに圧縮

<http://www.kahoku.co.jp/news/2012/10/20121023t11009.htm>

43万t→4万tに。可燃はまだ51万tが処理未決。

- 入札不調、高止まり 沿岸市町発注工事、石巻は深刻

<http://www.kahoku.co.jp/news/2012/10/20121023t11021.htm>

2012度に石巻市が発注した工事の入札で、ほぼ半数が業者決まらず。

- 石巻・大川小 文科省が検証支援 第三者機関の試案提示

<http://www.kahoku.co.jp/news/2012/10/20121023t11014.htm>

<http://diamond.jp/articles/-/26523>

遺族の希望が受け入れられた形だが、検証委員の人選が課題

●●●10/25 久保木 美由紀(現地担当)

先日の雨のあと、寒さが増し、冬のコートが手放せなくなってきた石巻です。

本日は河南地区へ訪問に伺いましたが、通り雨が降ったあと、虹が出て復興への希望を感じました。

●●●10/26 渡部 美穂子(山形県 船山病院)

7ヶ月ぶりの活動なのに、2日間しか時間が取れず申し訳なく思っています。

昨年から何度となく通った石巻ですが、「あれっ??こんなお店あったかな?」「電車が走ってる!!」など、目に見える変化に驚きました。が、市街地を少し離れると、ブルーシートに覆われた住宅が点在する地域もまだまだあり、「差」に違和感を感じました。

浦島太郎状態でしたが、現地担当の久保木さんと前日入りしていた笹岡さんが現状を分かりやすく教えてくださったので、支障なく活動できました。ありがとうございました。

2日とも自宅訪問をメインに行動し、『石巻市民の今、個々の生活』を垣間見ることができました。「被災者から生活者へ」と私自身の気持ちの切り替えが必要だと思いました。

ナビに翻弄され迷子になることもしばしばありましたが、多くの地域の現状をみることができ、よかったです。勤務上3日以上は活動は厳しいので、短期間になると思いますが、また来ます。寿司、舟盛り、おいしかったです。

(活動期間:平成 24 年 10 月 25 日~26 日)

●●●10/29 依光則子(現地担当)

本日、市の後援を受け石巻健康生活復興協議会が事務局として準備を続けてきた「石巻市健康・生活復興フォーラム」が石巻専修大学にて開催。県・省庁・市・関連事業所・病院・復興支援団体等から参加 300 名超、大成功でした。

後半のシンポジウムでは、被災者支援には官民間問わずの支援策・支援団体の連携と支援コーディネーターが重要、質の高い地域福祉コーディネーター育成が待たれる、との結論へ。「そんな人いたらスーパーヒーローだよ、いてもすぐ疲れちゃうよ」と知人の NPO の方。

そうかもしれませんが、それこそソーシャルワーカーの仕事のひとつではないでしょうか。

●●●4. 災害対策本部からのお知らせ

【1.協力員募集】

●●●現 地

現地の業務状況を鑑み、当面は制限なく受け入れを行います。

中 3 日以上・なるべく平日の活動が理想的ですが、具体的な日程については、災害対策本部までお気軽にご相談ください。

***11 月、12 月もまだまだ空いております。ご都合の付く方、ご協力をお待ちしております！

●●●事務所

引き続き募集しております。

平日のみの活動ですが1~2ヶ月に1回でも構いません。ご協力をお願い致します。

【2.災害対策本部会議】

次回は11月17日(土)18:30~ 協会事務所にて開催します。

ご意見や検討事項がありましたら、11/14(水)までに災害対策本部まで、電話やメールでお寄せ下さい。

【3.書籍販売】

『東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトン 1』の販売を行っています。

発災から昨年9月30日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録をまとめました。ぜひご覧になってください。尚、売上金の全額を皆様からの寄付として、本活動の資金に充てさせていただきます。

※ご注文は注文用紙で承ります。



●●●注文用紙はホームページからダウンロードできます。

http://www.jaswhs.or.jp/date/publishing_detail.php?@DB_ID@=45

【4.facebook】



facebook でも情報をお伝えしています。現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。応援よろしくお願いたします。

●●● URL

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

【5.YouTube】

現地での災害支援活動の様子を前事務所担当の一原さんがVTRにまとめて下さいました。YouTube にアップしましたので、是非ご覧ください。「医療ソーシャルワーカー災害支援」で検索すると見つかります。



●●● URL

<http://www.youtube.com/watch?v=vn34I9h5rJ4&feature=youtu.be>

【6.現地・事務所職員募集】

災害対策本部では現地・事務所職員を随時募集しています。
災害支援に関心のある方からのご応募をお待ちしております。
または周りでご興味のある方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。

●●●①現地常駐者(短期契約職員)

- ・就業場所:宮城県石巻市大街道北
- ・就業時間:9~17時
※業務の関係で残業あり。
- ・休日:土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・基本給 250,000 円/月
- ・通勤費実費支給
- ・社会保険加入
- ・医療ソーシャルワーカー業務経験必須
- ・長期の方優遇。月単位でも応相談。

●●●②災害対策本部事務所担当(パート職員)

- ・就業場所:協会事務局内
- ・就業時間:週3日程度 10~17時
※業務の関係で残業あり。
※頻度・時間は応相談。
- ・休日:土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・時給 900 円~ 通勤費は実費支給
- ・経験不問。医療ソーシャルワーカー業務経験者優遇

ご応募の方は下記宛に履歴書をお送りください。面接にて決定させていただきます。
または災害対策本部までお気軽にお問い合わせください。

●●●お問い合わせ

住所: 〒162-0065 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル
電話: 03-5366-1057
担当: 笹岡・中川

●●●5. 事務所感想文

10～11月の現地活動協力員さんの応募が少なく、以前活動して下さった方々に呼びかけのメールを送ったところ、続々と応答があり、心強く思いました。

…ただ、それでもまだ空きのある状態ですので、皆様どうぞ奮って活動にご参加ください。

10/29 災害対策本部事務所 三輪 清子

東日本大震災 MSW 災害支援ニュース
平成24年11月2日 第2巻30号
作成 群馬県医療ソーシャルワーカー協会



上毛カルタ：㊦ろいの支度で 八木節音頭

(群馬県 東毛地区)